

平成22年度 実施メニュー実施結果表

| | |
|----------------|--|
| 取組名 | 治山連絡会及び現地検討会の実施（新規） |
| 流域名 | 中越 |
| 実施箇所及び実施日 | 中越森林管理署入札室及び山地災害復旧工事現場 平成22年6月10日（木） |
| 取組の背景及び必要性 | 平成16年に発生した集中豪雨や中越大震災の激甚災害の復興途中であり、中越地域の行政機関を中心とした連絡会を立ち上げることに より治山技術の向上、普及に寄与する。 |
| 取組の内容 | 中越流域内の南魚沼、長岡両地域振興局と治山事業に関する連絡会 を開催。 また、現地において大型鋼製型枠工（円型セルダム）等治山技術を 紹介し現地検討会を実施した。 |
| 国有林担当 部局・役割 | 森林管理署：企画・立案 |
| 連携協働相 手先・役割 | 南魚沼地域振興局、長岡地域振興局 |

【 参 考 資 料 】

| | |
|-------|----------------------|
| 取 組 名 | 治山連絡会及び現地検討会の実施 (新規) |
|-------|----------------------|



平成22年度 実施メニュー実施結果表

| | |
|------------|--|
| 取組名 | 生物多様性保全に配慮した取組の推進（新規） |
| 流域名 | 中越 |
| 実施箇所及び実施日 | 中越森林管理署入札室 平成22年12月10日（金） |
| 取組の背景及び必要性 | 当署で実施している希少野生動植物種保護管理事業を、新潟県、市町村、森林組合等の森林・林業関係者に紹介し、意見交換を行うことにより、地域における生物多様性の保全に配慮した森林施業の必要性の意識向上、普及に寄与する。 |
| 取組の内容 | 新潟県、市町村、森林組合等の森林・林業関係者及び保護団体等から10団体25名、署員15名が一堂に会し、日頃の研究成果の講演・発表、意見交換を行うことにより、地域が一体となった森林施業の必要性を訴えた。 |
| 国有林担当部局・役割 | 森林管理署：企画・立案、発表 関東森林管理局赤谷森林環境保全ふれあいセンター：講演 |
| 連携協働相手先・役割 | 新潟県イヌワシ保全研究会：講演 |

【 参 考 資 料 】

取 組 名 生物多様性保全に配慮した取組の推進（新規）



新潟県イヌワシ保全研究会柳川代表の講演に耳を傾ける参加者

平成22年度 実施メニュー実施結果表

| | | |
|------------|--|--------------------------------|
| 取組名 | 森林環境教育推進総合対策事業（継続） | |
| 流域名 | 中越 | |
| 実施箇所及び実施日 | 国有林、学校林、小学校、地域イベント会場、ふれあいの郷等 6/8,16,18,19,20,25,7/18,24,25,8/8,29,9/6,18,11/18,19, | |
| 取組の背景及び必要性 | 小、中学校、一般市民を対象に森林教室、体験林業、木工教室を実施したところ大きな反響と効果が認められた。この取組を継続することにより森林・林業の大切さを理解する人々の拡大を期待できる。 | |
| 取組の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居、パネル等を利用し、人と森林の関わりについて理解してもらった。 ・除伐や間伐などの体験を通して、自分の目で耳で手で触れることにより、森林の手入れの大切さ、大変さを理解してもらった。 ・除間伐などで発生した小枝等を使い、木工教室を実施し木や森林に関心を持ってもらい、動植物や自然環境の保護に関心を持ってもらうことができた。 | |
| | 国有林担当部局・役割 | 森林管理署：体験林業や木工教室などの森林教室の開催、指導 |
| | 連携協働相手先・役割 | 各関係実行委員会、教育機関、県地域振興局 ：企画、立案 |

【 参 考 資 料 】

取 組 名 森林環境教育推進総合対策事業 (継続)



都市部の子供たちへの体験林業

森林に初めて足を踏み入れ、緊張気味の子供たちに森林の働きや作業上の注意を説明

(江戸川区立第七葛西小学校)

苗場ふれあいの郷
フェスティバルでの
親子木工教室



学校林へ出向いて森林教室
森林の手入れ体験



(南魚沼市立北辰小学校)